

解 答

問1 (糸魚川市)ウ (松本市)エ (塩龍市)ア

問2 かん水は海水より塩分が濃く、少ない燃料で効率的に塩をつくれるから。

問3 江戸の近くで、安定して塩を確保しつつ、売ることができるから。

問4 瀬戸内海は遠浅の海岸が多く、潮の干満の差も大きく、また晴天が多いから。

問5 日露戦争

問6 広い土地を必要としない点。

多くの労働力を必要としない点。

気象条件に左右されず、塩を生産できる点。

問7 (1) 日本の工業が発達し、ソーダ工業用の塩の需要が増えたから。

(2) 電気代などがかかるため価格が高い国内産の塩に比べ、外国産は価格が安く、工業製品の生産費用をおさえることができるから。

問8 塩は人間が生きてゆくために必要なものであり、昔ながらの塩づくりや塩田を残していくことは、自然と人間が共生し、自然環境の保全にもつながるといふ社会的意義がある。塩田の文化を伝えることで、自然環境の保全に対する関心を高め、自然と人間の共生を考えるきっかけにもなると考えられる。